

2024年3月期第2四半期 決算説明資料



トナミホールディングス株式会社

2023年12月4日

1

2024年3月期第2四半期 連結決算概要

2

2024年3月期 通期連結業績予想

3

第22次中期経営計画の進捗状況



1

2024年3月期第2四半期 連結決算概要

2

2024年3月期 通期連結業績予想

3

第22次中期経営計画の進捗状況



2024年3月期第2四半期 連結決算総括

2024年3月期第2四半期連結業績は、営業収益「減収」、営業利益「減益」

営業収益

696億円、前期比較1.0%減、約7億円の減収

倉庫事業・情報処理事業は増収となったものの、貨物輸送量の減少により減収。

営業利益

29億円、前期比較17.5%減、約6億2千万円の減益

業務効率化や外注業務の内製化等のコストコントロールに努めたものの、燃料価格、インフラ費用の高止まりや人件費の増大により、減益。

経常利益

33億円、前期比較15.7%減、約6億2千万円の減益

親会社株主に帰属する当期純利益

22億円、前期比較18.5%減、約5億1千万円の減益



2024年3月期第2四半期 連結決算の概要

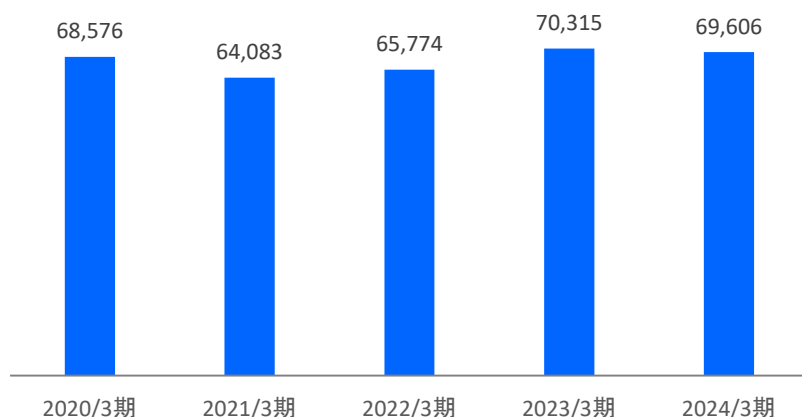
営業利益率は前期5.1%から当期4.2%に減少

(単位：百万円)

	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	前年同期 増減率
営業収益	68,576	64,083	65,774	70,315	69,606	△1.0%
営業利益	3,415	2,415	3,616	3,551	2,930	△17.5%
営業利益率	5.0%	3.8%	5.5%	5.1%	4.2%	△0.9P
経常利益	3,687	2,727	3,885	3,959	3,336	△15.7%
経常利益率	5.4%	4.3%	5.9%	5.6%	4.8%	△0.8P
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,461	1,654	2,689	2,768	2,255	△18.5%
当期純利益率	3.6%	2.6%	4.1%	3.9%	3.2%	△0.7P

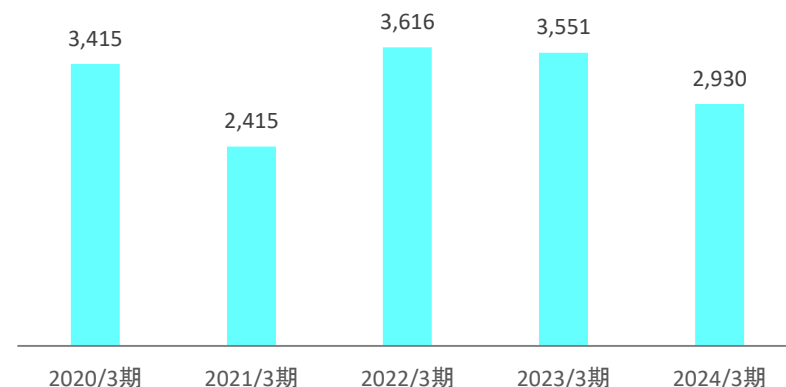
【営業収益】

(単位：百万円)



【営業利益】

(単位：百万円)



2024年3月期第2四半期 セグメント別決算概要

倉庫事業は前期比較2.7%増、情報処理事業が前期比較15.8%増

(単位：百万円)

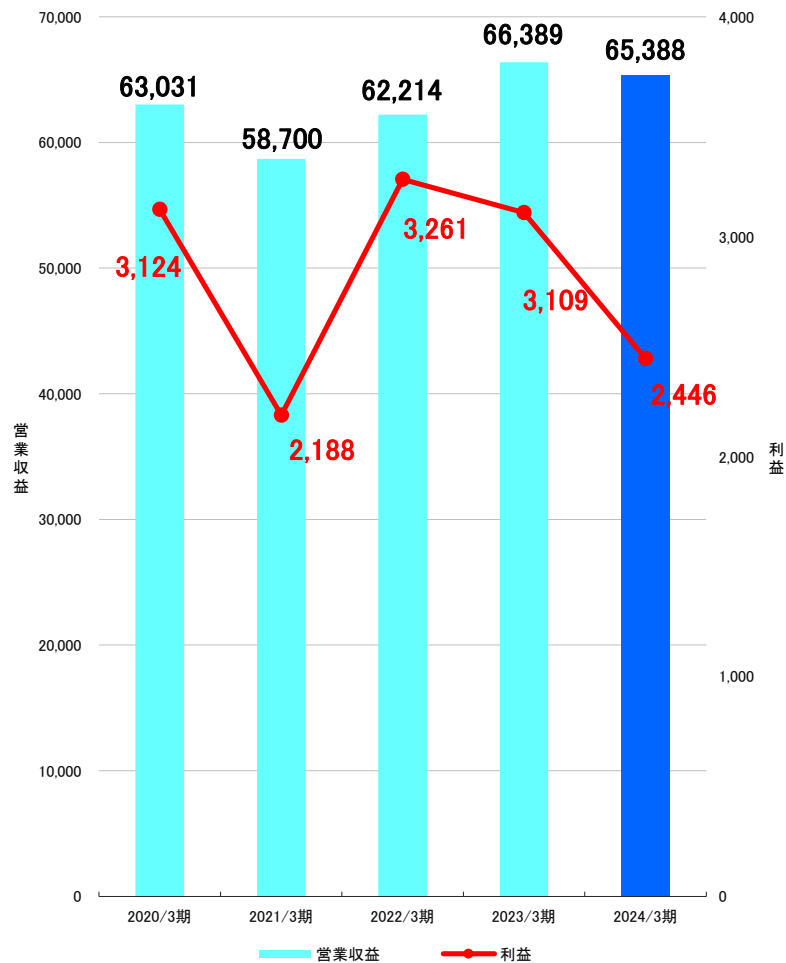
	2023年3月期 第2四半期連結累計期間		2024年3月期 第2四半期連結累計期間		増減	
	営業収益	構成比	営業収益	構成比	金額	増減率
物流関連事業	66,389	94.4%	65,388	93.9%	△1,000	△1.5%
貨物自動車運送事業 及び貨物利用運送事業	(46,454)	(66.1%)	(45,390)	(65.2%)	(△1,063)	(△2.3%)
倉庫事業	(17,043)	(24.2%)	(17,506)	(25.1%)	(462)	(2.7%)
港湾運送事業	(2,891)	(4.1%)	(2,491)	(3.6%)	(△399)	(△13.8%)
情報処理事業	1,610	2.3%	1,865	2.7%	255	15.8%
販売事業	1,183	1.7%	1,300	1.9%	117	9.9%
その他	1,132	1.6%	1,052	1.5%	△79	△7.1%
営業収益合計	70,315	100.0%	69,606	100.0%	△708	△1.0%



2024年3月期第2四半期 セグメント別決算概要

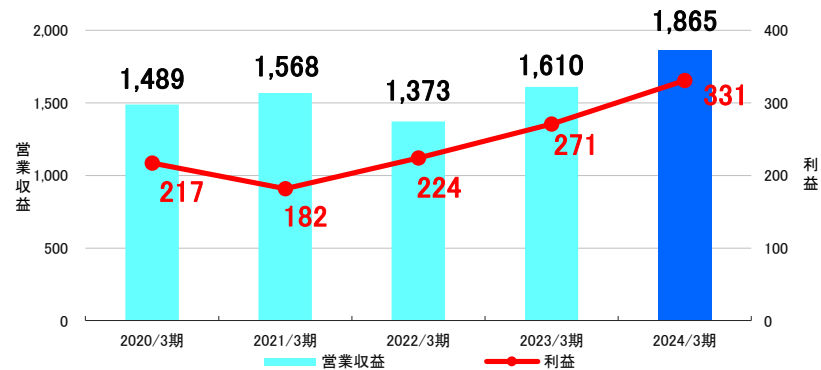
物流関連事業

(単位：百万円)

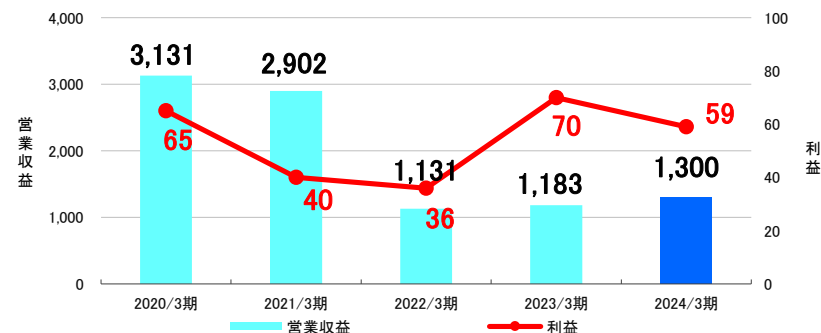


情報処理事業

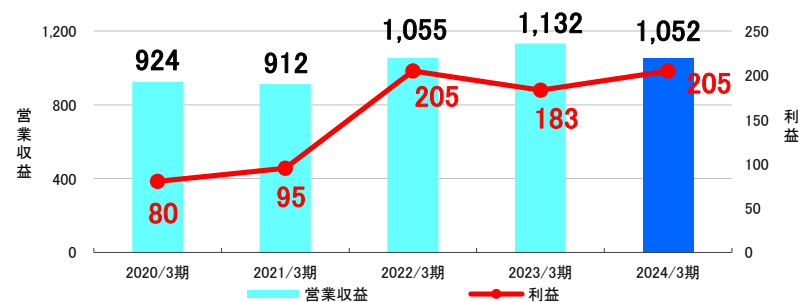
(単位：百万円)



販売事業

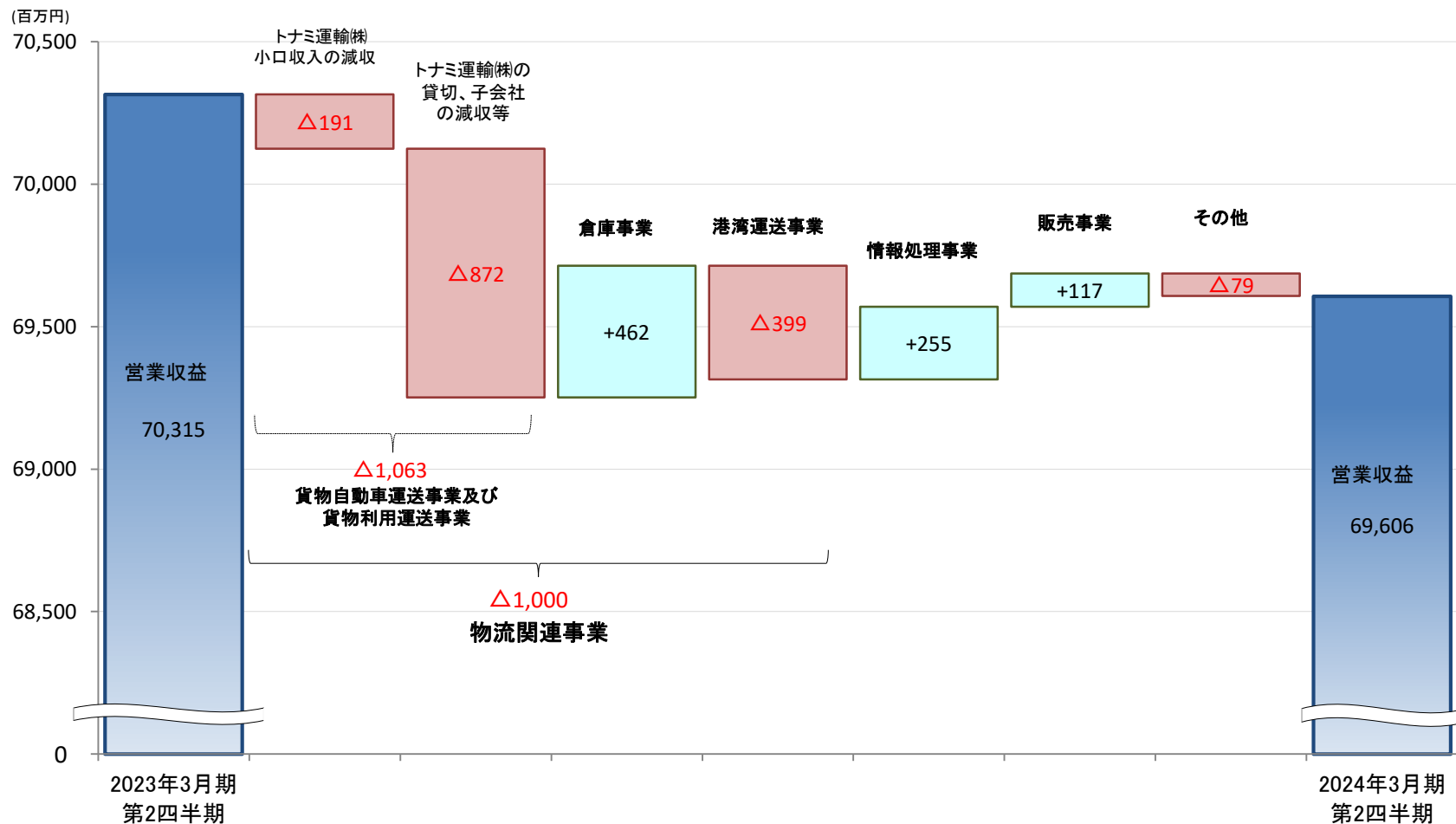


その他



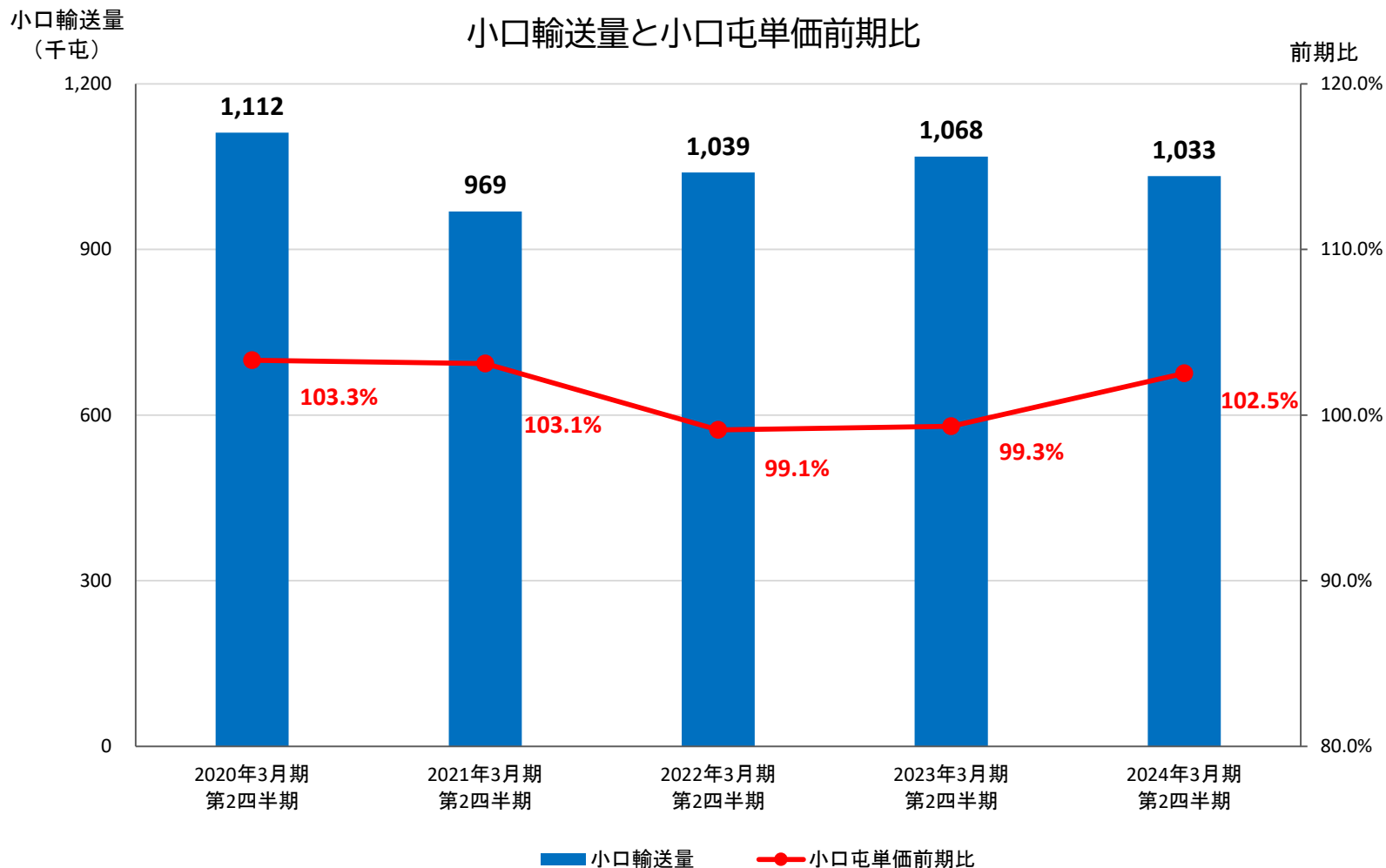
2024年3月期第2四半期 営業収益の増減要因

営業収益は前期比較1.0%減、約7億円の減収



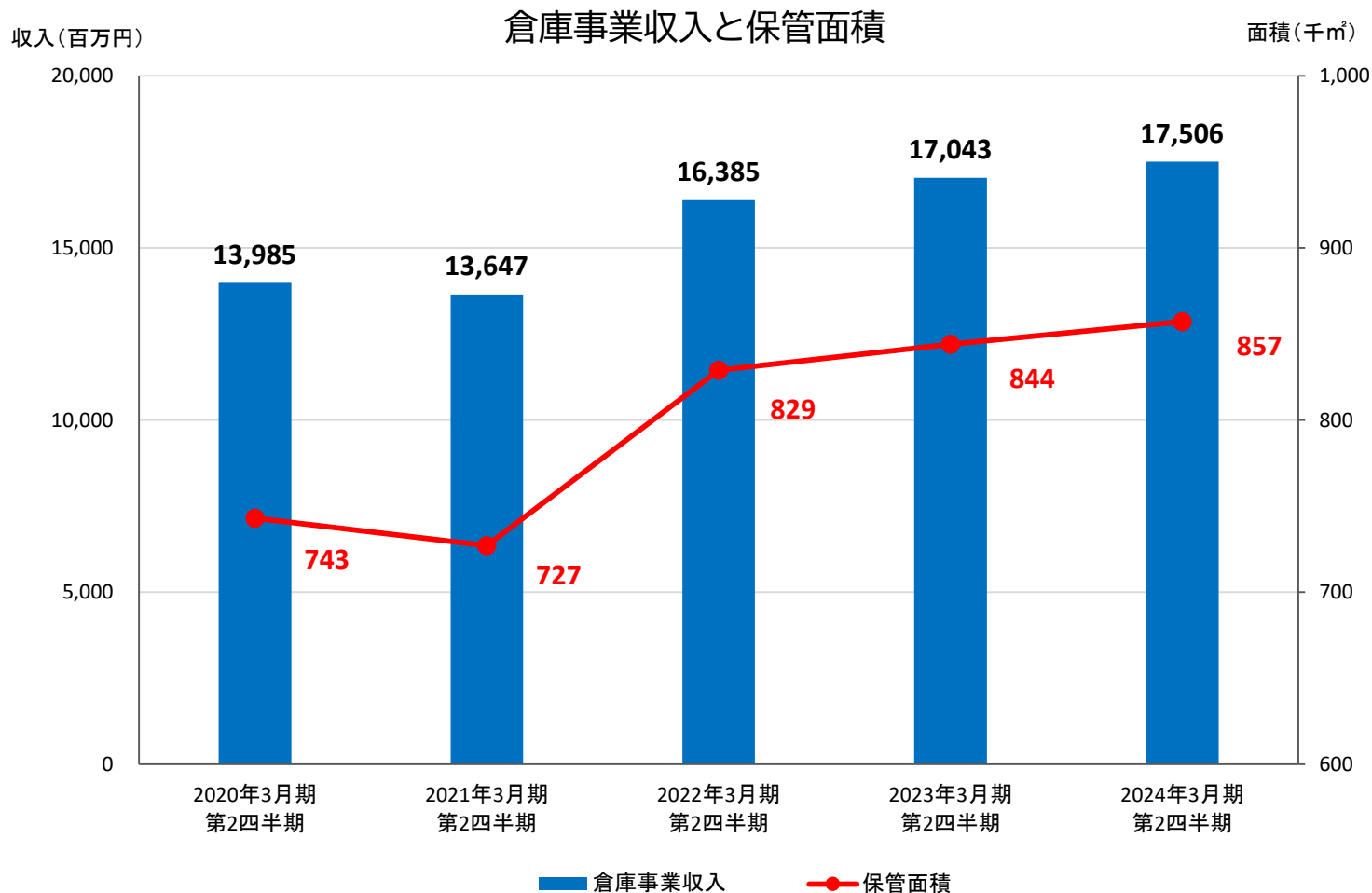
2024年3月期第2四半期 特別積合せ貨物運送事業の状況（トナミ運輸株）

小口屯単価は前期比2.5%増



2024年3月期第2四半期 倉庫事業の状況

保管面積の拡大により、倉庫事業収入は前期比2.7%増

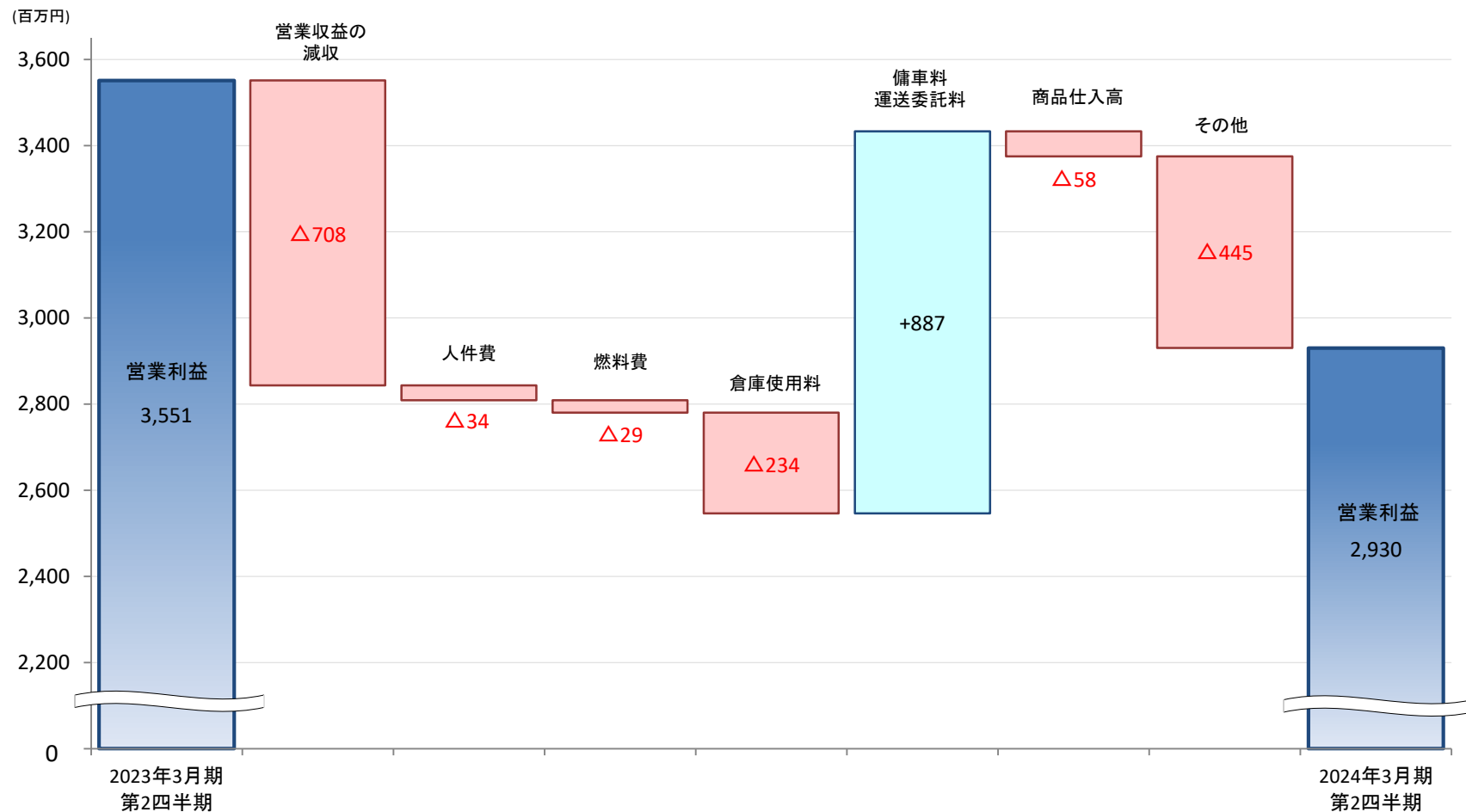


(注)2024年3月期第2四半期の保管面積857千㎡の内、自社倉庫の保管面積は400千㎡



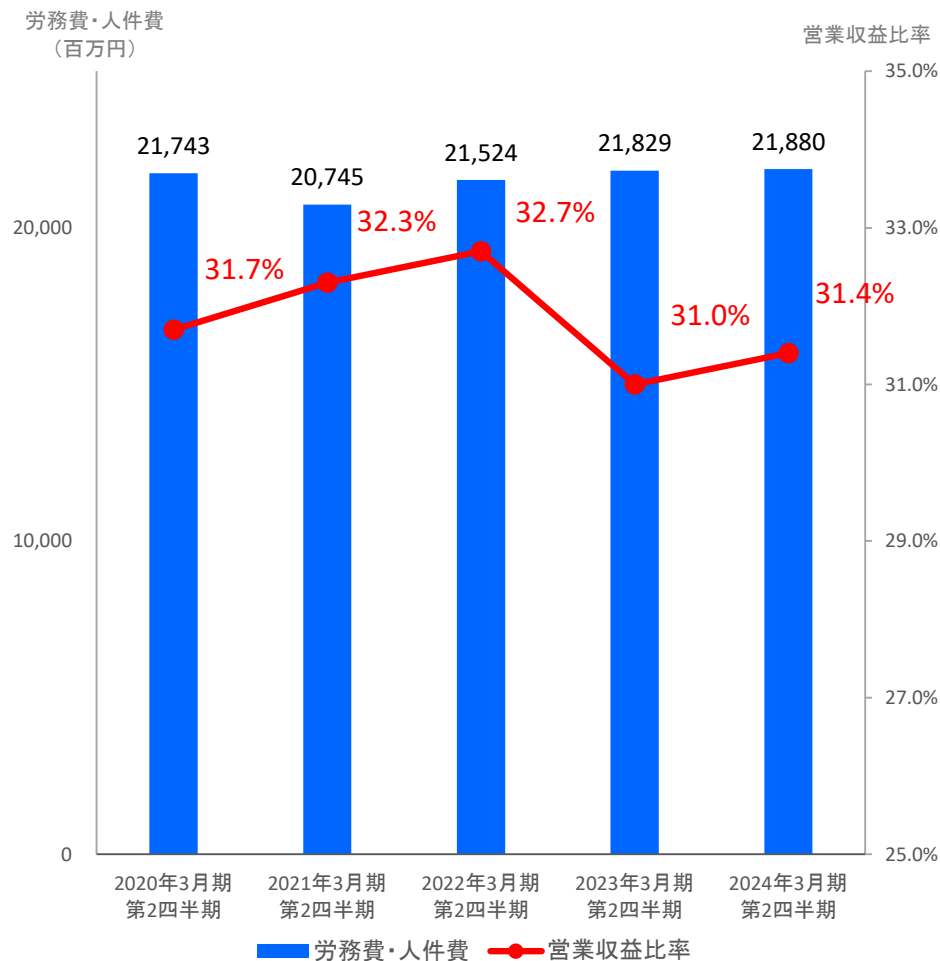
2024年3月期第2四半期 営業利益の増減要因

営業利益は前期比較17.5%減、約6億2千万円の減益

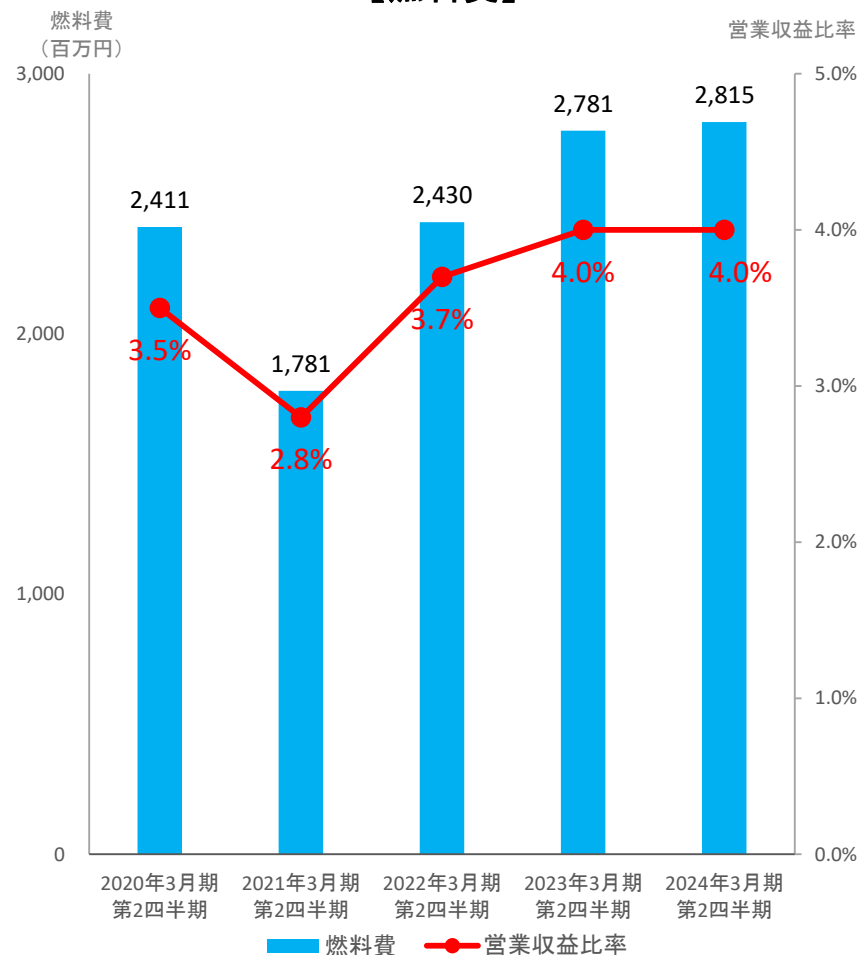


2024年3月期第2四半期 営業費用（人件費・燃料費）の推移

【労務費・人件費】

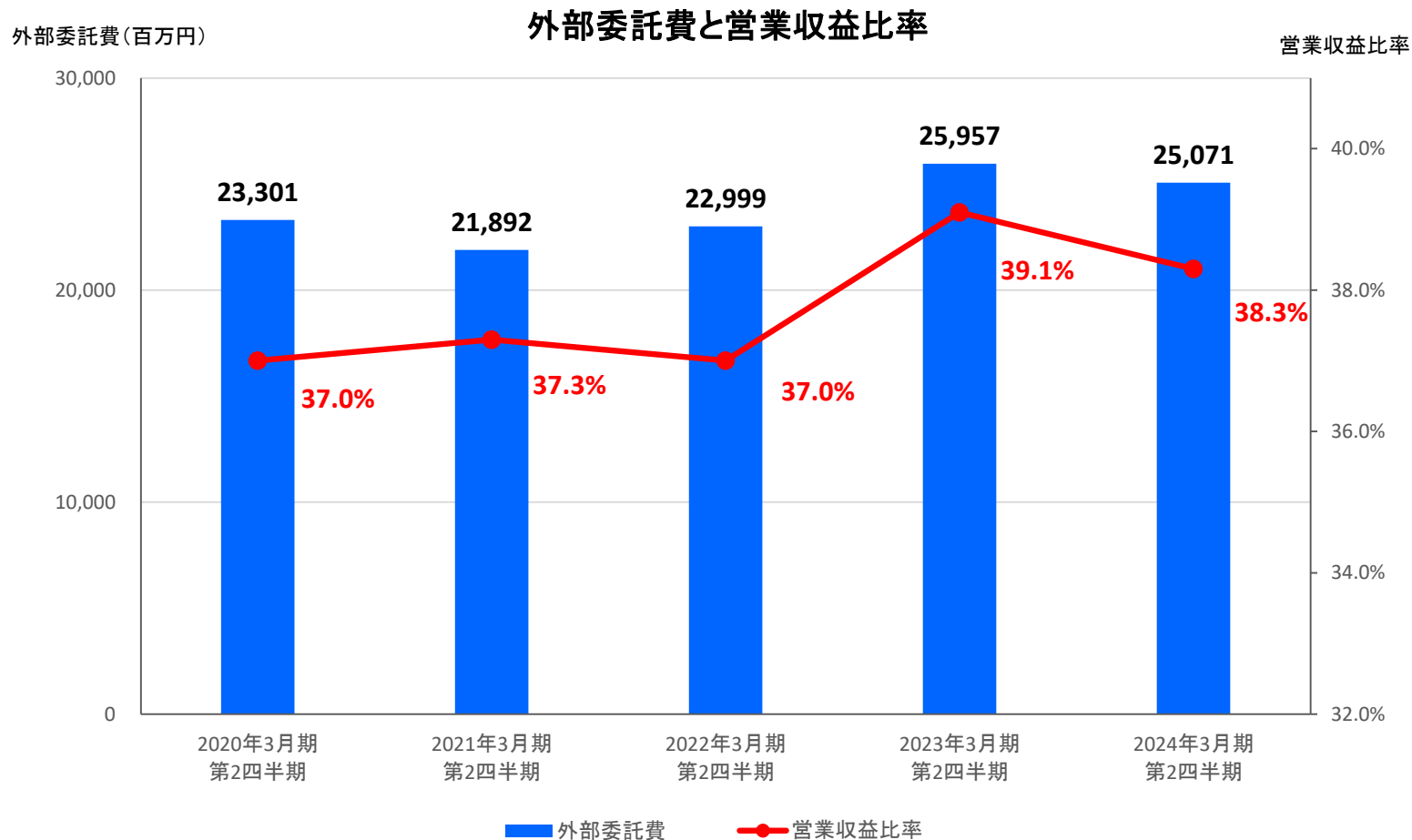


【燃料費】



2024年3月期第2四半期 外部委託の状況

外部委託費の営業収益比率は前期比0.8%減



(註)外部委託費は備車料および運送委託料、営業収益比率は物流関連事業の売上に対する比率

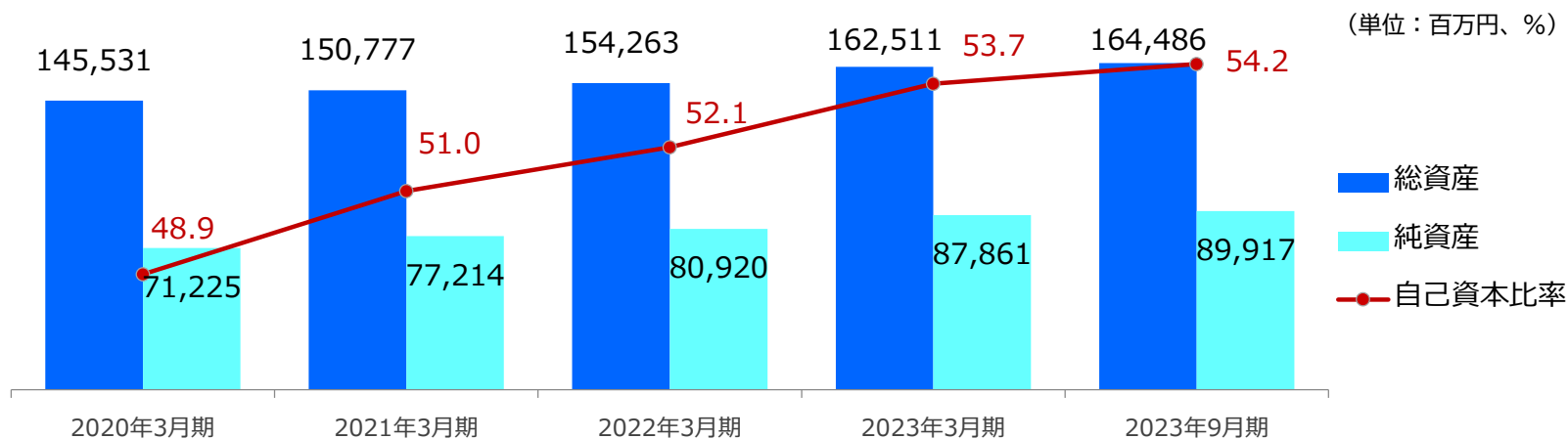


連結貸借対照表の概要

総資産は前期比較 1,974百万円増加

(単位：百万円、%)

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2023年9月期	前期増減
流動資産	58,480	54,174	57,818	62,144	62,658	+513
固定資産	87,051	96,602	96,444	100,366	101,827	+1,461
資産合計	145,531	150,777	154,263	162,511	164,486	+1,974
流動負債	38,193	36,392	34,252	35,347	36,687	+1,340
固定負債	36,112	37,170	39,090	39,302	37,881	△1,420
負債合計	74,306	73,563	73,342	74,649	74,569	△80
純資産合計	71,225	77,214	80,920	87,861	89,917	+2,055
負債純資産合計	145,531	150,777	154,263	162,511	164,486	+1,974
自己資本比率	48.9	51.0	52.1	53.7	54.2	+0.5



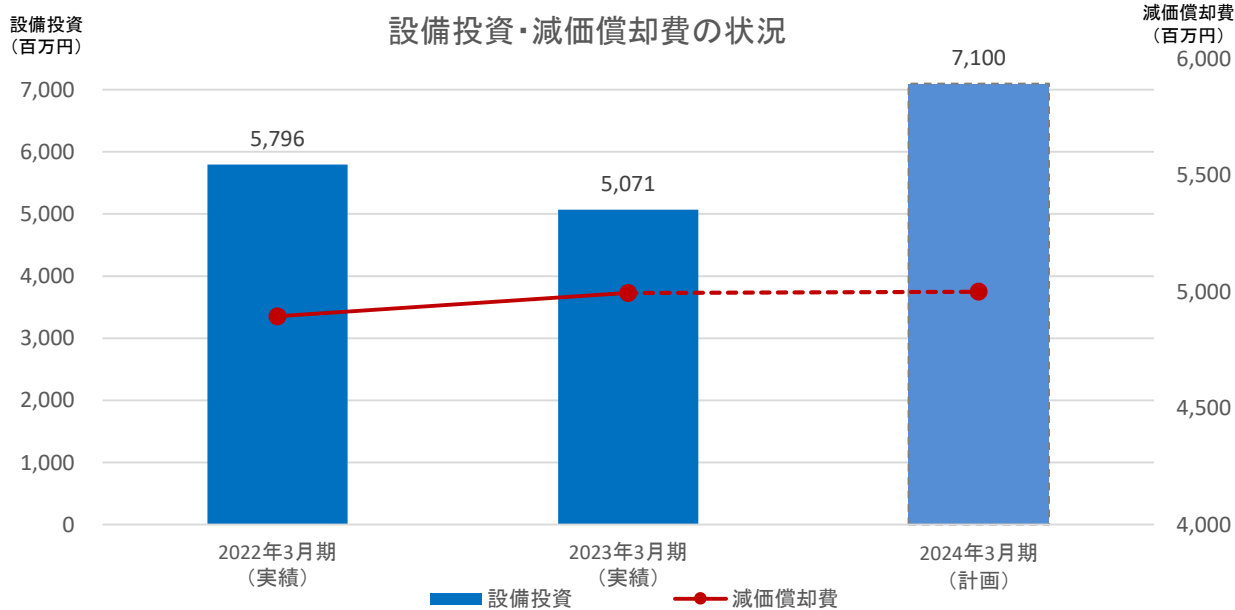
設備投資・減価償却費の概要

設備投資は約50億円を実施、今期は約71億円を見込む

(単位：百万円)

		第22次中計 (3ヶ年合計)	2022年3月期 (実績)	2023年3月期 (実績)	2024年3月期 (計画)
土地	新施設用地	1,000	234	2	240
施設	新規施設、増改築	7,200	398	776	1,800
車両	車両代替	2,700	741	673	1,000
リース資産	車両リース料、システム関連、等	6,900	2,801	2,363	2,800
その他	機械、建設仮勘定、等	2,200	1,622	1,257	1,260
設備投資		20,000	5,796	5,071	7,100
減価償却費		17,300	4,894	4,994	5,000

3ヶ年合計(見込み)
180億円

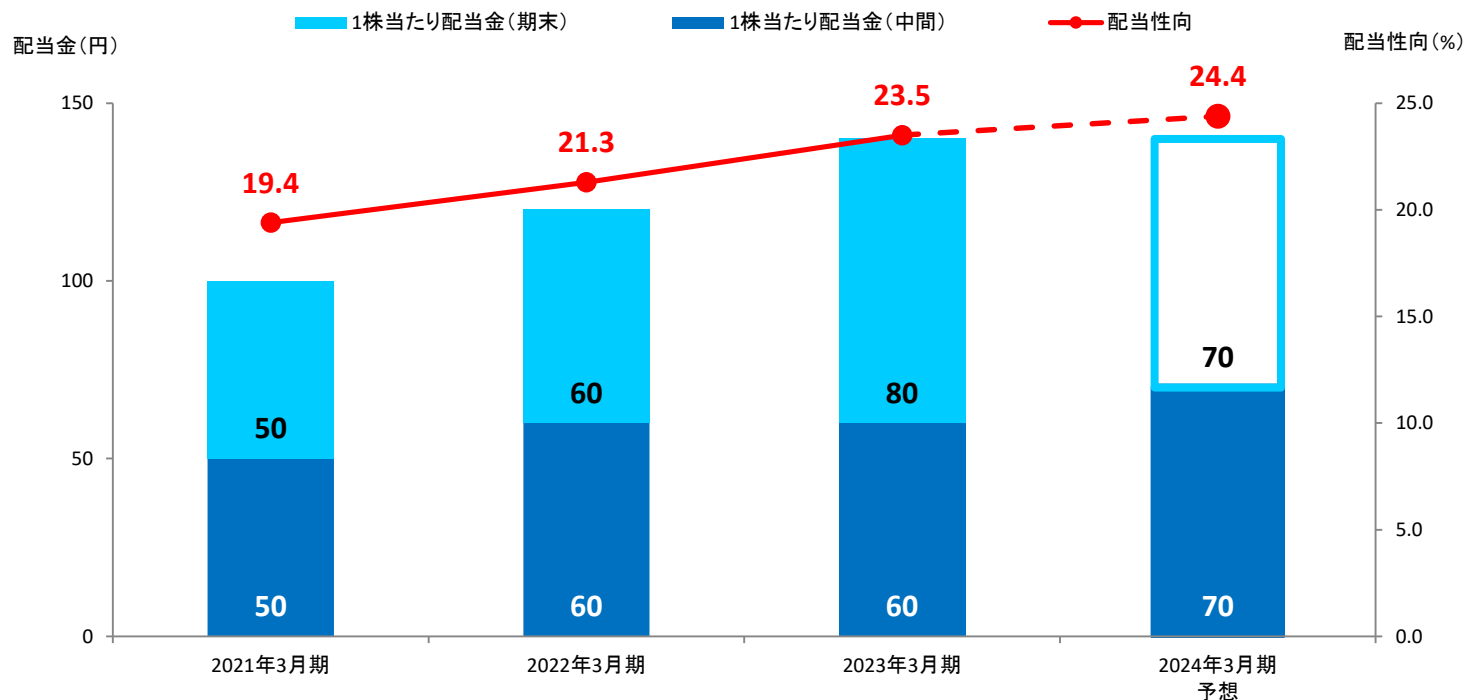


配当政策の基本方針

将来の事業展開に備えた成長投資の原資の確保

財務の健全性維持

キャッシュフローの水準等にも留意して、株主の皆様に対する安定配当を実施



1

2024年3月期第2四半期 連結決算概要

2

2024年3月期 通期連結業績予想

3

第22次中期経営計画の進捗状況



2024年3月期 通期連結業績予想の概要

営業収益は前期比較2.2%増、営業利益は前期比較5.2%減を予想

(単位：百万円)

	2023年3月期 実績	2024年3月期 業績予想 (5月12日公表)	2024年3月期 業績予想修正 (11月10日公表)	前期増減	前期増減率
営業収益	141,920	150,000	145,000	3,080	2.2%
営業利益	7,381	8,000	7,000	△381	△5.2%
営業利益率	5.2	5.3%	4.8%	-	-
経常利益	8,189	8,400	7,700	△489	△6.0%
経常利益率	5.8	5.6%	5.3%	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,391	5,800	5,200	△191	△3.6%
当期純利益率	3.8	3.9%	3.6%	-	-



1

2024年3月期第2四半期 連結決算概要

2

2024年3月期 通期連結業績予想

3

第22次中期経営計画の進捗状況

「第22次中期経営計画（2021年度～2023年度）」の概要

スローガン

TONAMI New Plan 2023

新たな社会構造の中でDXによる業務効率化を更に推進し生産性を上げ
物流サービスと輸送事業の連携強化により中長期的な成長を継続する

特別積合せの複合
ビジネスとしての
戦略展開による
ロジスティクス
ビジネスの成長

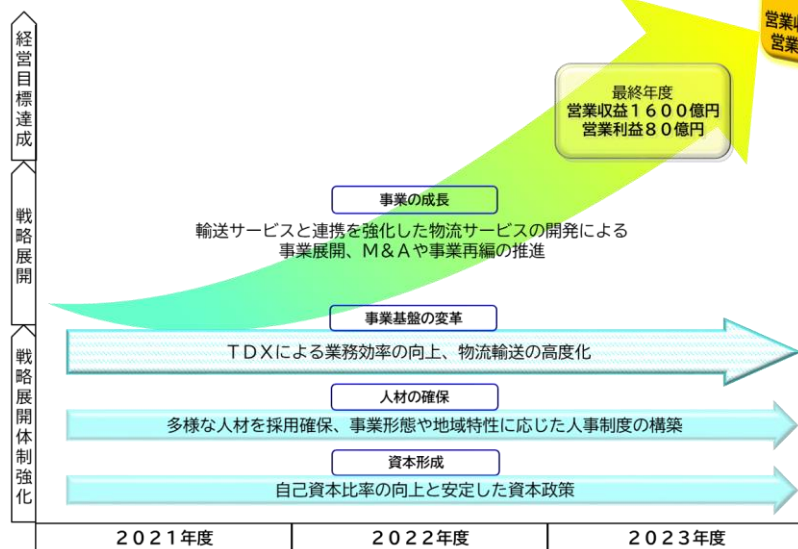
TDXによる
業務効率の向上
(TONAMI
デジタルトランス
フォーメーション)

多様な人材を採用
確保、事業形態や
地域特性に応じた
人事制度の構築

自己資本比率の
向上と安定した
資本政策

経営品質
(CSR・BCP)と
成長性(ESG)
評価や社会的
認知度の向上

戦略ロードマップ



連結業績目標

(単位：百万円)

	2020年度 実績	2023年度(最終年度) 業績目標
営業収益	134,695	160,000
営業利益	6,455	8,000
営業利益率	4.8%	5.0%
経常利益	7,146	8,300
経常利益率	5.3%	5.2%
税引後当期純利益	4,660	5,200
当期純利益率	3.5%	3.3%
ROA (総資産経常利益率)	4.8%	5.3%
ROE (自己資本当期純利益率)	6.3%	6.0%
ROIC (投下資本営業利益率) ※	4.4%	5.0%

※ROIC=[営業利益×(1-税率)]÷(株主資本+有利子負債)

第22次中期経営計画の業績目標に対する進捗状況

連結業績目標

(単位：百万円)

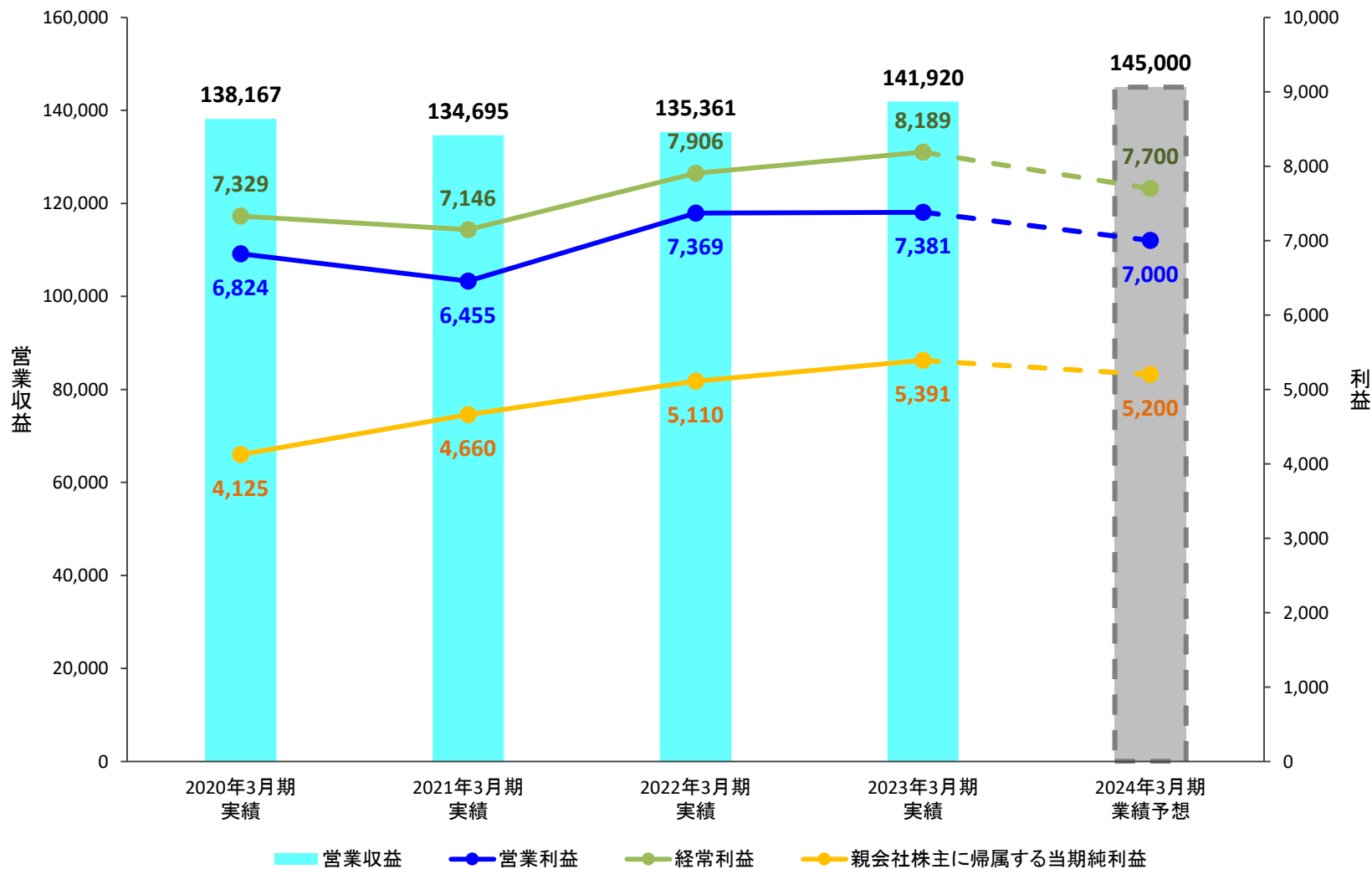
	初年度	次年度	最終年度		
	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	2024年3月期 業績予想	最終目標 との比較	第22次中計 最終目標
営業収益	135,361	141,920	145,000	90.6%	160,000
営業利益	7,369	7,381	7,000	87.5%	8,000
営業利益率	5.4	5.2	4.8%	-	5.0
経常利益	7,906	8,189	7,700	92.8%	8,300
経常利益率	5.8	5.8	5.3%	-	5.2
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,110	5,391	5,200	100.0%	5,200
当期純利益率	3.8	3.8	3.6%	-	3.3



営業収益・利益の推移

営業収益は増収基調で推移を予想

(単位: 百万円)



第22次中期経営計画 重点戦略

事業の成長

輸送サービスと連携を強化した物流サービスの開発による事業展開、M & Aや事業再編の推進

2023年7月

トナミ運輸(株)あきる野支店開設（東京都あきる野市）

トナミ運輸(株)は、3PL事業並びに貨物自動車運送事業の更なる成長をめざし、あきる野支店を開設しました。特別積合せ運送事業の新たな拠点として、三多摩地区における輸配送サービスの強化をはかり、物流サービスの向上および業容拡大をめざしております。

【あきる野支店外観（T－LOGIあきる野 1F区画②）】



事業の成長

輸送サービスと連携を強化した物流サービスの開発による事業展開、M & Aや事業再編の推進

2023年7月 株式会社ウインローダーを連結子会社化

当社は、2023年7月、東京都東村山市の株式会社ウインローダーの発行済株式のうち、61.3%を既存株主から取得、当社が保有していた株式13.6%と合わせて、74.9%の株式を保有、同社はグループ事業子会社となりました。

同社は、東京都西部の三多摩地区においてトラック輸送ならびに倉庫事業を展開し、地域密着型の物流サービスを提供しております。これまでも当社グループの三多摩地区における配送を担っておりましたが、連結子会社化することにより、同社の持つ実運送力を活かし、グループインフラの利活用をはじめとする経営資源の連携や情報システムの共有など協業化を進め、生産性の向上をはかることにより、更なる企業価値の向上に取り組んでまいります。

商 号	株式会社ウインローダー
所 在 地	東京都東村山市恩多町1-13-2 LOG-PORT103
代 表 者	代表取締役社長 武江 哲雄
事業内容	一般貨物自動車運送事業、倉庫業
資 本 金	50百万円

第22次中期経営計画 重点戦略

事業の成長

輸送サービスと連携を強化した物流サービスの開発による事業展開、M & Aや事業再編の推進

2023年10月

丸嶋運送株式会社・山一運輸倉庫株式会社を連結子会社化

【丸嶋運送株式会社】

所在地	奈良県天理市上総町300-3
代表者	代表取締役社長 岡田 浩
事業内容	一般貨物自動車運送事業、倉庫業
資本金	40百万円

【山一運輸倉庫株式会社】

所在地	静岡県富士市依田橋260-1
代表者	代表取締役社長 圓谷 正文
事業内容	一般貨物自動車運送事業、倉庫業
資本金	11百万円



経営品質の向上

経営品質（CSR・BCP）と成長性（ESG）評価や社会的認知度の向上

「既販中型重量車の水素エンジン化事業性検証プロジェクト」 富山県内にて貨物輸送に向けた実証走行試験を開始

トナミ運輸(株)は、(株)フラットフィールド、東京都市大学、北酸(株)、(株)早稲田大学アカデミックソリューションと2021年8月より共同で実施している「既販中型重量車の水素エンジン化事業性検証プロジェクト」において、2023年8月より、富山県内にて貨物輸送に向けた実証走行試験を開始しました。

1. 導入車両

- (1)ベース車両 日野レンジャー
- (2)車両総重量 7,990 kg
- (3)想定航続距離 300 km（実証走行試験にて検証）
- (4)水素搭載量 40 kg（70MPa）

2. 実証走行試験

- (1)事業者 トナミ運輸(株)富山支店(富山市宮町334-1)
- (2)エリア 富山市・射水市を中心とした富山県内で走行
- (3)水素充填場所 ①水素ステーションとやま
②とやま南水素ステーション

水素エンジンを搭載した
水素トラック



ESGの取り組み

サステナビリティの取り組みは以下のとおり

項目	重要課題	関連するSDGs
環境	環境にやさしいトラックの導入	        
	カーボンニュートラルへの取り組み	
	環境マネジメント	
	リサイクルの推進	
社会	地域社会とのコミュニケーション	       
	働きやすい職場づくり	
	ダイバーシティ＆インクルージョン	
安全	輸送の安全確保	    
	物流品質向上	
ガバナンス	コーポレートガバナンスの強化	 
	コンプライアンスの推進	

ご清聴ありがとうございました



トナミホールディングス株式会社

【お問い合わせ先】 経営企画グループ TEL : 0766-32-1073

E-mail : kikaku@tonami.co.jp

【ホームページ】 <https://www.tonamiholdings.co.jp/>

■本資料の注意点

- ・本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- ・本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が予測したものです。実際の業績は、様々なリスク要因や不確実な要素により、業績見通しと大きく異なる可能性があります。
- ・本資料中の情報によって生じた影響や損害については、当社は一切責任を負いません。
- ・なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複写複製、または転載等を行わないようお願いいたします。

